

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <https://www.rengo-ilec.or.jp/>

発行責任者：専務理事 永井 浩

通信 No.72

第14回連合・ILEC 幸せさがし文化展

表彰式と展覧会を開催

2年に1度実施している「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門の公募展として開催しています。

第14回を迎えた今回の文化展には、全国から7,043点のご応募をいただきました（絵画の部58点、写真の部526点、書道の部438点、俳句の部2,637点、川柳の部3,384点）。

厳正な審査の結果、各部門の入賞者を決定し、10月8日の連合第19回定期大会では大賞受賞者の表彰式を行いました。

また、10月8日～13日には、目黒区美術館区民ギャラリーで入賞作品全点を展示した展覧会を開催し、多くの方々にご来場いただきました。



▲展覧会の様子



▲審査員の先生方による講評会を開催

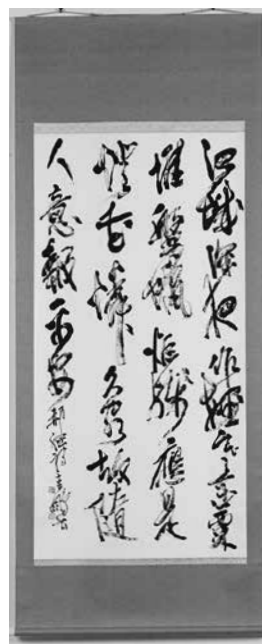


▲芳野連合会長から表彰盾と目録授与



▲表彰式には6名の入賞者が出席

◆入賞作品の一部◆



◇連合大賞・ILEC大賞・シニア特別賞・ジュニア特別賞入選作品一覧◇

(敬称略)

絵画の部

連合大賞	祝い	ナガッチョ	千葉県
ILEC大賞	トビタイ情熱	杉谷 泥舟	海員組合
シニア特別賞	隣のプーちゃん (Ⅱ)	老子 英夫 (82歳)	東京都
ジュニア特別賞	ヘラクレスオオカブト	松本 多輝 (6歳)	東京都

写真の部

連合大賞	Usually	KottiNumbom	北海道
ILEC大賞	幸せな日々	上杉 孝徹	香川県
シニア特別賞	豊作の笑顔	志藤 長雄 (95歳)	情報労連 (NTT労組退職者の会山形県支部山形分会)
ジュニア特別賞	こんにちわん	杠葉 絢美 (14歳)	沖縄県

書道の部

連合大賞	郝経詩 (燭花)	今泉 杏鵬	退職者連合 (情報労連NTT労組退職者の会青森支部)
ILEC大賞	麒麟	井上 煌雲	山口県
シニア特別賞	載復古句	齋藤 善秋 (89歳)	退職者連合 (情報労連NTT労組退職者の会秋田県支部協議会)
ジュニア特別賞	百花繚乱	小比賀 俐心 (13歳)	香川県

俳句の部

連合大賞	伊達藩は何処までなのか流れ星	Unicode	岩手県
ILEC大賞	物の影やはらかにして水温む	生野 久	大分県
シニア特別賞	啓蟄や目標立てて日々生きる	原田 祥二郎 (83歳)	福岡県
ジュニア特別賞	背番号 もらってつづく 炎天下	西野 泰史 (13歳)	大阪府

川柳の部

連合大賞	望遠鏡見れば宇宙に戦なし	散歩道	東京都
ILEC大賞	欠点を百書けるのに君が好き	初貝みな	東京都
シニア特別賞	お互いが 主治医のような 老夫婦	中村 利之 (81歳)	大阪府
ジュニア特別賞	溶け落ちるアイス犠牲に写真とる	ことり (13歳)	大阪府

～入賞作品は全点ILECホームページでご覧いただけます～



連合大学院「優秀論文」報告を実施

連合大学院（法政大学大学院連帯社会インスティテュート）は、法政大学・連合・教育文化協会の連携により、法政大学大学院に設置されている修士課程プログラムです。労働組合プログラム、協同組合プログラム、NPOプログラムの3つからなり、各分野のリーダーや専門家を育てる高度職業専門人財の育成機関として、開講以降今年3月修了の9期生まで85名が修士号を取得し卒業しています。

連合第19回定期大会では、労働組合プログラム9期生の卒業生を代表し、特に優秀な論文として古賀友晴さん（連合本部）に、修了論文「『特定（産業別）最低賃金』の今日的意義と労働組合の役割に関する考察」の要旨を報告していただきました。



▲論文を報告する古賀さん

第22回「私の提言」募集 ～8編の入賞提言を決定～

教育文化協会は、連合と共催で第22回「私の提言」を募集し、57編の提言が寄せられました。ご応募ありがとうございます。

9月4日（木）に開催した第2回運営委員会（委員長＝相原康伸教育文化協会理事長）で、14名の運営委員による審査を行い、以下の8編の入賞提言を決定しました。

10月8日（水）開催の連合第19回定期大会で表彰式が行われ、入賞者を代表して「優秀賞」を受賞した大山佳祐さんが出席しました。芳野友子連合会長による表彰盾・副賞授与の後、大山さんより、提言に込めた思いなどが定期大会参加者に伝えられました。

あわせて入賞提言8編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しています。教育文化協会ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



▲芳野会長より表彰盾・副賞を授与



▲スピーチを行う大山さん

<入賞提言>

賞	氏 名	所 属	提言タイトル
優秀賞	大山 佳祐 吉村 透真 大崎 康平	國學院大學 経済学部3年	不当な労働環境の下で働く人々が声をあげられる社会 ～SNSを活用した労働組合を知る機会の創出～
佳作賞	廣田 一貴	電力総連 労働政策局次長	「人材の流動化」による労働市場や職場への影響 ～今後の企業・労働組合に求められるもの～
	前田 充康	国際行政書士MAEDA法務事務所 代表	外国人特定技能者100万人の受入れが進む中、 適正な受入れと人間尊重に基づく共生社会実現 のため連合の果たすイニシアティブの重要性
ILEC 30周年記念・ 組合特別賞	石原 崇弘	ファイブスター労働組合 中央執行委員長	“まもる”から“そだてる”へー フォー・ユーキャリアが描く キャリア支援型ユニオンの未来
	橋本 英幸	自治労松阪市民病院職員組合 執行委員長	声を届けるだけでは、もう足りない ——指定管理者制度と現場からの提言——
	榎田 博之 田原 孝次 前田 藍	自治労しまね自治研 フードロス対策チーム	「食べ残しのない集会」への挑戦 ーしまね自治研における フードロス対策の実践と意義ー
奨励賞	長谷川麻紀	アルファ税理士法人 職員	誰一人取り残さない安心社会のために ー労働組合が「すべての働く人の応援団」 であることを目指してー
学生特別賞	村松 優	中央大学 経済学部3年	すべての若者に公平なスタートラインを

※ I L E C 設立30周年を記念して、第22回は「I L E C 30周年記念・組合特別賞」を設けた。

※所属・役職は応募時点

連合寄付講座の後期講義がスタート！

～全国各地で開催中～

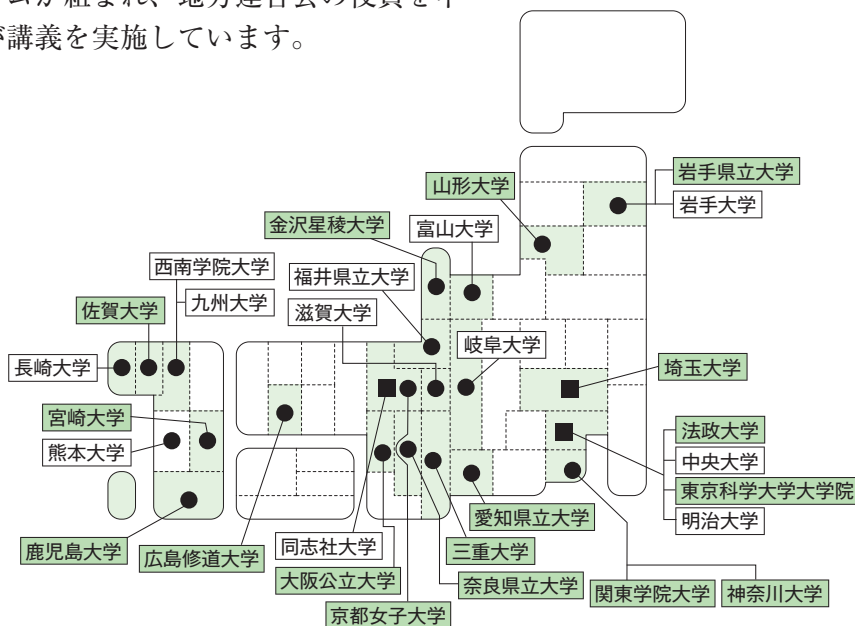
9月以降、法政大学、東京科学大学大学院、埼玉大学で2025年度後期の「連合寄付講座」が順次始まります。法政大学は13年目、東京医科歯科大学との統合で昨年に発足した東京科学大学大学院は前身の東京工業大学大学院から数えて7年目、埼玉大学は19年目の開講となります。

また、地方連合会主催の寄付講座では、連合石川にて新たに金沢星稜大学で開講し、連合宮崎では5年ぶりに宮崎大学で再開し、全国各地の計13大学で連合寄付講座を開講します。各地域の労働事情などを踏まえた特色あるプログラムが組まれ、地方連合会の役員を中心とした地域で活躍する講師陣が講義を実施しています。



▲大阪公立大学寄付講座(2025.9.29)の様子

※■は教育文化協会主催の連合寄付講座
※このほか、連合沖縄が沖縄大学で自主的に寄付講座を開講



2025年度東京科学大学大学院 連合寄附講義プログラム

『これから働く学生のためのワークルール入門Ⅰ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	10/7	イントロダクション	西田 亮介 東京科学大学特任教授
2	10/14	労働組合の歴史と基礎	逢見 直人 連合顧問
3	10/21	ワークルールを知る	山本 和代 労委労協事務局長
4	10/28	仕事と生活の両立に向けた取り組み －男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み－	阪本裕実子 生保労連中央副執行委員長
5	11/11	職場の声を集める（職場の課題改善に向けた取り組み）	岡本 晃 富士通労働組合中央副執行委員長
6	11/18	若年者・フリーランスに関する連合の取り組み	小林 妙 連合フェアワーク推進局長
7	11/25	教員による論点整理	西田 亮介 東京科学大学特任教授

『これから働く学生のためのワークルール入門Ⅱ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/9	イントロダクション	西田 亮介 東京科学大学特任教授
2	12/16	今、働く現場で何が起きているのか －労働相談から見た雇用の現状－	森 啓記 連合中央労働相談センター局長
3	12/23	労働組合と政治・政策	山本 昌弘 連合政治センター事務局長
4	1/6	仕事と生活の両立に向けた取り組み －男女がともに働きやすい職場づくり－	下山 恵史 通建連合ミライト・ワン労働組合中央執行委員長
5	1/13	働き方と賃金（企業における賃金決定のプロセス）	伊藤 彰英 基幹労連企画調査部部长
6	1/20	ジェンダー平等と労働組合	畠山 薫 連合総合政策推進局長 (ジェンダー平等・多様性推進担当)
7	1/27	修了講義（東京科学大学の学生に期待することなど）	相原 康伸 教育文化協会理事長

※講義時間は火曜日15：25～17：05、調整中の講義も含む。

2025年度法政大学 秋学期『連合寄付講座：働くということと労働組合』プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/23	【オリエンテーション】労働組合とは何か	法政大学 教員
2	9/30	【開講の辞】 連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起】 「働くこと」について考える～労働組合の役割と意義～	相原 康伸 教育文化協会理事長
3	10/7	【ケーススタディ①】労働時間の短縮に向けた取り組み	窪田亜希子 生保労連中央副執行委員長
4	10/14	【ケーススタディ②】 非正規雇用労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	立花 正貴 伊藤ハム米久労働組合 中央執行委員長
5	10/21	【ケーススタディ③】公務労働の現状と公共サービスの役割	氷室佐由里 自治労総合労働局長
6	10/28	【ケーススタディ④】 デジタル化の進展に伴う課題と労働組合の役割	浦 早苗 K D D I 労働組合中央執行委員長
7	11/4	【ケーススタディ⑤】 男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	深見 正弘 全労金中央執行委員長
8	11/11	【ケーススタディ⑥】雇用と生活を守る取り組み	浜 博幸 J AM副書記長＋若手職員（3名）
9	11/18	【課題への対応①】いま働く現場で何が起きているのか ～労働相談からみた若者雇用の現状～	河野 広宣 連合総合組織局長
10	11/25	【課題への対応②】 労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み	酒井 伸広 連合労働条件・中小地域対策局次長
11	12/2	【課題への対応③】 あらゆるハラスメントの根絶に向けた労働組合の取り組み	松田 陽作 連合 ジェンダー平等・多様性推進局長
12	12/9	【課題への対応④】国際労働運動の役割 ～グローバルゼーションへの対応～	郷野 晶子 ITUC会長／ILO理事
13	12/16	【修了講義】連合運動の現在と未来 ～これから社会へ出る皆さんへ～	神保 政史 連合事務局長 【コーディネーター】法政大学 教員
14	1/13	【論点整理】「働くということ」と労働組合	法政大学 教員

※講義時間は、火曜日15：00～16：40

2025年度埼玉大学 第4ターム「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/3	【開講の辞】 連合寄付講座において埼玉大の学生に学んで欲しいこと 「働くことを軸とする安心社会にむけて」	連合本部役員
2		労働相談から見た働く現場の現状と労働組合の取り組み	森 啓記 連合中央労働相談センター局長
3		労働組合をつくる	山本 伸 アルプス技研労働組合委員長
4	12/10	非正規雇用労働者の処遇改善をすすめる	飯田 康介 ライフ労働組合執行委員長
5		仕事と生活の両立に向けた取り組み	調整中
6	12/17	カスタマーハラスメント対策に向けた労働組合の取り組み	宮野 勇馬 J R連合企画局長
7		コロナ危機における雇用確保の取り組み	櫻田あすか サービス連合会長
8	1/7	労働組合の政策活動①	調整中
9		多様な人材の活躍を促進する	調整中
10	1/14	労働組合の政策活動② 働く仲間を守る ―航空連合の盗撮対策の取り組み―	小林 茜 航空連合会長
11		地域で雇用と生活を守る	大谷 誠一 連合埼玉事務局長
12	1/21	組合員の処遇改善の取り組み ～春季生活闘争の取り組み～	白山友美子 マルハニチロユニオン 中央執行委員長
13		連合の賃金に関する取り組み	新沼かつら 連合労働条件・中小地域対策局長
14	1/28	【修了講義】 労働者を取り巻く現状と課題 －労働組合が果たすべき役割とは	相原 康伸 教育文化協会理事長
15	2/4	教員によるまとめ	金井 郁 埼玉大学教授

※講義時間は、水曜日 4時限（14：40～16：10）・5時限（16：20～17：50）

Rengoアカデミー・第24回マスターコース修了式を実施

～17名が1年におよぶプログラムを終了～

9月25日（木）に、連合会館にてRengoアカデミー・第24回マスターコースの修了式および修了論文報告会を開催し、17名の修了生が2024年11月から約1年にわたるプログラムを修了しました。

修了論文報告会では修了生が論文の要旨を発表し、担当講師からそれぞれコメントをいただきました。修了式では、Rengoアカデミー校長である芳野友子連合会長より修了証が授与され、最後に修了生を代表して橋元ゼミの廣田一貴さんより謝辞が述べられました。修了式後には修了祝賀会を開催し、修了生の出身組織代表者の皆さまからも修了生へ激励のメッセージが送られました。

修了生の皆さまの今後のご活躍を祈念するとともに、送り出していただいた各組織のご協力に感謝申し上げます。



▲修了式の様子

<Rengoアカデミー・第24回マスターコース修了生・修了論文一覧> (敬称略)

ゼミ	所属・氏名	論文テーマ
禹	UAゼンセン 梶原 岳史	UAゼンセンにおける組織拡大成功要因の分析 —労働組合結成に対する経営の理解を中心に—
	J P 労組 兼久陽一郎	J P 労組における組合脱退の実態分析 —最近8年間の脱退の動向をふまえて—
	情報労連 吉田 久男	労働組合への参画意識向上に向けて —職場会の実態から考える—
梅崎	自動車総連 黒田 悠揮	多様化する働き方の課題に対するユニオンリーダーの役割 ～ホワイトカラーのテレワーク課題への具体事例を通して～
	情報労連 白山詠美子	沈黙の奥にある声 —組合員の「Voice」を引き出す職場の試み—
	日教組 渡辺 典子	労働組合文化運動の伝統と可能性 —「労働映画」を視点として—
木本	運輸労連 大宅 信	労働時間短縮に向けて労働組合がやるべきこと —宅配業界で選ばれる企業であるために—
	連合愛知 近藤 隆之	中小零細企業の組織化 —働きやすい職場を作るために—
	自動車総連 高木健太郎	地域社会を支える自動車整備士 —若者に選ばれる職業に向けて労働組合が果たすべき役割—
	J E C 連合 畠中智香子	装置産業で働く女性の現状と課題 —セメント製造の現場から—
橋元	運輸労連 板谷 光芳	児童虐待と労働組合とのかかわりについて—この問題を解決するには—
	情報労連 石澤 拓也	納得性の高い人事評価の実現に向けて —組合員の賃金査定に労働組合が果たすべき役割とは—
	電力総連 廣田 一貴	「人材の流動化」による労働市場や職場への影響 ～今後の企業・労働組合に求められるもの～
	J P 労組 山本 洋子	J P 労組における組織拡大の現状と課題
浜村	J A M 松本 瑛貴	特定最低賃金制度の今日的意義と課題 —福島県における地域別最賃との逆転現象を中心に—
	UAゼンセン 矢内 俊行	ディーセントな雇用流動化で労働者が守られる社会へ —望まない離職を生まないための労働団体の可能性—
	労金連合会 柳 崇弘	労働金庫法上の労働者性から考えるフリーランスの包摂 —労働法および労働界による包摂の検討—

Rengoアカデミー・第25回マスターコースのご案内

Rengoアカデミー・マスターコースは、労働運動・社会運動の将来を担うリーダーの育成を目的に、担当講師の指導のもと、各種研修やゼミを通じて、約1年間で論文をまとめて修了するプログラムです。今年度から、従来の集中合宿の日程を短縮し、通学研修も設ける等、より参加しやすいプログラムとなるよう運営の見直しを行っております。

第25回マスターコースは11月16日（日）より開講します。今回も各組織の支援のもと運営してまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

一定時総会・理事会を開催

教育文化協会は、9月16日に联合会館において第13回定時総会を開催しました。定時総会では、2024年度（2024年7月1日～2025年6月30日）決算、役員報酬総額、定款の一部改正、役員の選任の4議案について提案され、いずれも提案どおり承認されました。また、これに先立ち開催した6月17日の第55回理事会において、2025年度（2025年7月1日～2026年6月30日）事業計画・予算、特別寄附金の受領、役員報酬総額、事務局就業規程などの一部改正の5議案が提案され、いずれも提案どおり承認されました。

2025年度も引き続き、労働運動を担う人材育成、労働教育や文化活動に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めて参ります。

※2024年度事業報告・決算報告および2025年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事（34名）

2025年9月16日時点

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
理 事 長	相原 康伸	教育文化協会 理事長	理 事	福田 英樹	私鉄総連 委員長
副理事長	清水 秀行	教育文化協会 副理事長／ 連合 事務局長	理 事	伊藤 敏行	フード連合 顧問
専務理事	永井 浩	教育文化協会 専務理事	理 事	立川 博行	海員組合 政策局長
常務理事	河野 広宣	教育文化協会 常務理事／ 連合 総合組織局長	理 事	織田 正弘	交通労連 委員長
常務理事	遠藤和佳子	教育文化協会 常務理事	理 事	杉山 正治	労金協会 常務理事
理 事	畑 慎一	U Aゼンセン 副会長	理 事	大好 博巳	こくみん共済 coop 常務執行役員
理 事	並木 泰宗	自動車総連 事務局長	理 事	平川 則男	連合総研 専務理事
理 事	八巻 由美	自治労 総合企画総務局長	理 事	元林 稔博	国際労働財団 常務理事
理 事	橋本 修平	電機連合 事務局長	理 事	南部美智代	中央労福協 事務局長
理 事	椎木 盛夫	J A M 副書記長	理 事	梅原 貴司	総評会館 専務理事
理 事	田中 洋司	基幹労連 副執行委員長	理 事	宮本 礼一	日本労働会館 代表理事
理 事	安達 正美	J P 労組 委員長	理 事	中村 圭介	東京大学 名誉教授
理 事	山木 正博	日教組 書記長	理 事	伊丹謙太郎	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理 事	壬生 守也	電力総連 会長	理 事	今野浩一郎	学習院大学 名誉教授
理 事	春川 徹	情報労連 書記長	理 事	禹 宗杭	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理 事	成田 幸隆	運輸労連 委員長	理 事	禿 あや美	埼玉大学学術院人文社会科学研 究科経済学部 准教授
理 事	堀谷 俊志	J E C 連合 会長	理 事	和田 寿昭	生協総研 専務理事

監事（3名）

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
監 事	湯本 健一	連合 総合総務財政局長	監 事	杉山 紀恵	日本労信協 常務理事
監 事	堀 義行	生保労連 中央執行委員長			

顧問（5名）

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
顧 問	西村 寿紀	元 専務理事	顧 問	南雲 弘行	元 理事長
顧 問	岡部 謙治	元 理事長	顧 問	神津里季生	元 Rengoアカデミー 校長
顧 問	古賀 伸明	元 Rengoアカデミー 校長			

第13回定時総会にて次の役員が退任しました。

理 事 綱島 和彦	理 事 芦川 和人
理 事 石川 幸徳	理 事 濱田 毅司
理 事 水野 和人	監 事 勝田 年彦

在任中ひとかたならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

◆連帯社会研究交流センター「連帯社会」連続講座のご案内◆

連合大学院を運営する連帯社会研究交流センターでは、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を実施しています。オンライン（Zoom）開催のため全国どこからでもご参加可能です。みなさまのご参加をお待ちしています。

2025年 11月29日	就職氷河期世代の苦闘と模索（仮題） 講師：木本 喜美子（一橋大学名誉教授）
2025年 12月6日	お互いさまの文化がダイバーシティを加速する ～育児・介護休職からサバティカルまでキャリアブレイクと捉える考え方～ 講師：北野 貴大（一般社団法人キャリアブレイク研究所代表理事）
2026年 1月10日	中山間地神山の地方創生と"神山まるごと高専"という挑戦 講師：佐野 淳也（神山まるごと高等専門学校准教授）
2026年 2月21日	大規模災害時における緊急対応の光と影 講師：秋富 慎司（金沢医科大学 救急医学講座 教授）

お申込みは
こちらから



ワークルール検定2025秋 ～受検者募集中～

ワークルール検定は、働くときに必要な法律や決まりを身につけられる検定制度です。

いま、職場の環境が変わり、働き方も多様になって、身近なところでいろいろな問題が起こっています。でも、ワークルールを知っていれば問題を未然に防止できたり、解決できたりすることもたくさんあります。働く人にとっては、知識を身につけることによって自分や仲間を守ることができます。会社にとっては、コンプライアンスの推進や人材の確保に役立ちます。だれもが安心して働き続けられる職場をつくるために、この検定制度を大いに生かしてください。

今回より、自宅でも職場でも場所を問わず受けられるIBT方式となりました。みなさまの挑戦をお待ちしています。

検定期間	11月28日（金）、29日（土）
申込受付締切	11月14日（金）

詳細はホームページを
ご覧ください



事務局より 退任・着任者からのご挨拶

在任中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。寄付講座やRengoアカデミー、文化展では、各界の方々との交流で貴重な経験ができました。ILECでの経験を連合本部での業務にも活かして参ります。
（陳浩展チーフディレクター…連合本部へ復帰）

あつという間でしたがとても濃い3年間でした。たくさんの人とこれまで経験したことのない幅広い仕事に携わることができ、本当に貴重な経験をさせていただきました。関わってくださったすべての皆さまに感謝申し上げます。ILECでの経験を糧に引き続き産別の立場から労働運動・連合運動に携わってまいります。今後ともよろしくお願いいたします。（中町友紀子ディレクター…生保労連へ帰任）

初めて教育文化協会に着任いたしました。教育、文化事業は、実は元々興味のある分野であり、楽しみにしています。これまでの経験を生かして、努力していく所存です。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。（若月利之ディレクター…連合本部より派遣）

生保労連からの派遣で9月1日に着任いたしました。これまで産別で培った経験をできる限り活かし、新たな仕事に邁進する所存です。その中で、様々なヒトやコトに触れ、学びを得ていくことを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。（濱仲海ディレクター…生保労連より派遣）